

別紙2-事例補助資料

A市の情報

事業所所在地の環境	人口は約10万人、人口の約30%は65歳以上の高齢者であり、人口の5%にあたる約5千人が障害者手帳を保持している。
	県庁までは自動車です1時間、都市圏までは電車で1時間程度かかる。
	産業は、新都市開発による工場誘致により第二次産業が増加傾向にある。
地域の社会資源の状況	公共交通機関は地元の鉄道、バスがあるが、自動車が移動手段の中心である。
	障害福祉サービス事業は、市内の社会福祉法人やNPO法人により、就労継続支援A型・B型、生活介護、生活訓練、就労移行支援の各事業が整備されている。
地域の地場産業	相談窓口として、障がい者相談支援センター1ヶ所、特定相談事業所8ヶ所があり、障害者就業・生活支援センターは隣市にある。
	自動車産業が盛んな地域であり、部品の製造をはじめとした下請け企業が多い。
	以前は、家内工業の工場がたくさんあり、職親制度等も利用して障害のある人の雇用がされていたが、最近ほとんどが閉鎖・倒産している会社が増えている。

就労継続支援B型事業所 「スマイル」

事業所の概要	多機能型事業所
	就労移行支援事業 定員12名
	就労継続支援B型事業 定員20名
	現在の利用者は、身体・知的・精神など多様な障害種別の人が利用している。
職員構成	太郎さんが利用しているグループホーム「ピアハウス」からはバスで10分(徒歩ならば45分かかる)の距離である。
	管理者1名(60代女性) サービス管理責任者1名(40代男性)
	職業指導員3名(40代女性、60代男性、20代女性)
	生活支援員2名(30代女性、30代男性) 就労支援員1名(30代女性)
日課	平日 9:30~16:00 土日祝日は休所
主な作業内容と工賃	カフェ(接客、皿洗い、調理補助等) 時間 200円~400円
	組み立て作業 時間 200円~400円
	施設外就労活動(近所の運送会社での倉庫内作業・袋詰め作業) 時間 400円~580円

グループホーム 「ピアハウス」

事業所の概要	共同生活援助事業所(介護サービス包括型)
	夜間は連絡体制のみ
	入居定員4名 現在 太郎さんを含め男性4名利用中
	建物 戸建住宅 5LDK
	居室4室(8畳) 世話人室 リビング(共有スペース)、お風呂、トイレ、洗面所 洗濯機、キッチン共有
サービス管理責任者	立地環境 住宅地の一角にあり、すぐ隣には公園がある。歩いて5分の所に コンビニ、スーパーなどがあり、駅までも徒歩15分程度。
世話人	普段は別にある事務所にいて、他に2ヶ所のホームも見ている。
生活支援員	月~金 6:00~9:00、15:00~20:00 (1日 計8h勤務)
	土・日 8:30~17:30(8h勤務)